

「足趾の遠位趾節間関節（DIP 関節）の癒合状況に関する多施設共同研究の二次解析」に関する臨床データの研究利用についてのお願い

研究の概要・背景

足の指には通常3つの骨とそれぞれの間に関節（趾節間関節）が二つ（遠位と近位）が存在しますが、足趾の遠位趾節間関節（DIP 関節）はもともと癒合している人がいます。癒合している骨が骨折した場合、骨折なのか、本来あった関節なのか診断が難しく、手術が必要かどうかの判断に支障をきたすことがあります。DIP 関節が癒合している人が多くを占めるようになると、標準的な治療の変化につながります。この癒合状況が変化すると、将来的に、治療の提案、管理の仕方の向上につながる可能性があります。

試料・情報の利用目的・方法（他機関への提供を含む）

過去の足部エックス線写真を読み取り、足趾の状態を確認します。左右の別、撮影日、撮影時年齢、生年月日、性別を調査します。データは匿名化され、取得した情報は研究用 ID をつけて管理し、他機関への提供はありません。データは当院内で厳重に保管し、調査結果は、学会、論文などで公表しますが、個人を特定できる状態でデータを使用することはありません。

対象者・期間

1920 年から 2009 年生まれで 2009 年から 2024 年に足趾エックス線を撮影された者
対象期間：本研究の実施許可日～2028 年 9 月 30 日

データ利用のお願いと申し出について

これらの臨床データは通常の診療で記録されたもので、患者さんに新たな負担はありません。また、個人を特定できるような状態でデータを使用することはありません。本研究の目的と、臨床データ利用に関するご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお、本研究に関するさらなる説明をご希望の方、また、本研究において臨床データの利用を希望されない方は下記問い合わせ窓口にご連絡ください。研究不参加を申し出られたとしても、患者さんが不利益を受けることは一切ありません。

【お問い合わせ先】

長岡赤十字病院

担当医師：リウマチ科 根津貴広

〒940-2085 新潟県長岡市千秋 2-297-1

電話：0258-28-3600(代)、FAX：0258-28-9000(代)